

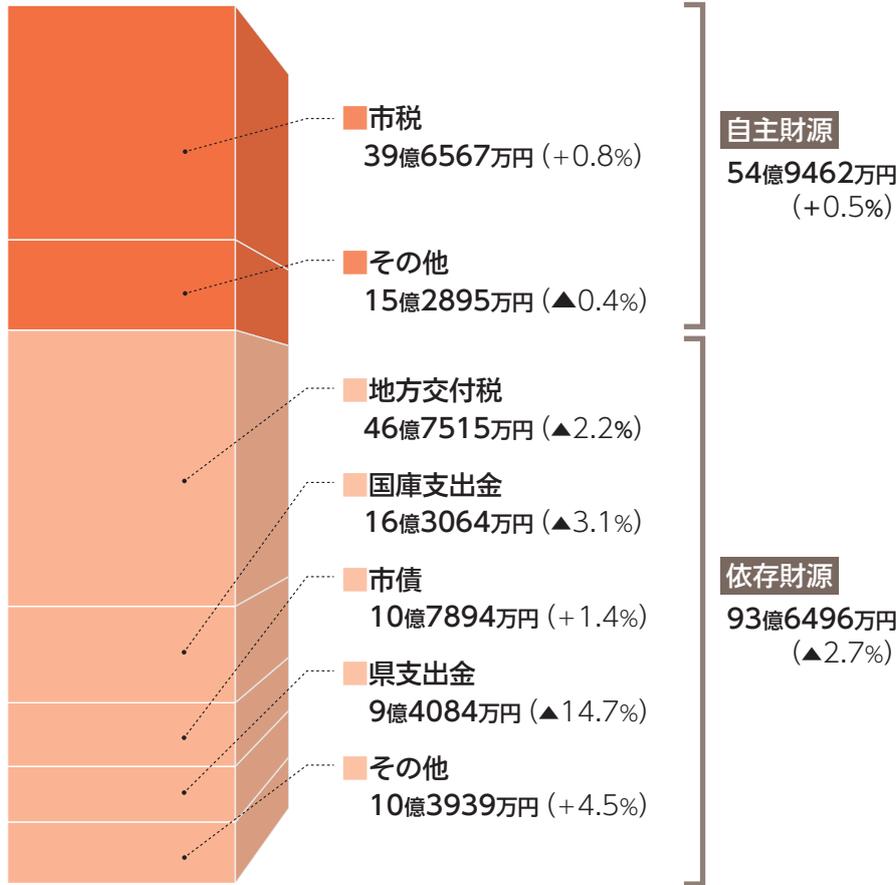
# 市の財政状況をお知らせします

平成30年度の決算がまとまり、市議会9月定例会で認定されました。一般会計は、歳入総額が148億5958万円、歳出総額が140億6804万円で、次年度への繰り越し分を除いた実質収支額は7億5952万円の黒字となりました。

一般会計

歳入総額

148億5958万円 (▲1.6%)



※ ( )内は対29年度比

一般会計の歳入は148億5958万円で前年度に比べ1.6%の減となりました。

歳出では、小学校トイレ大規模改修事業やパークゴルフ場整備事業などによる教育費の増加などがありました。その一方で、のさか望洋荘解体事業の終了などによる総務費の減少や、私立認定こども園

▼歳出は29年度と比べて約3億2000万円減

歳入は、合併算定替交付税の縮減に伴う普通交付税の減少や、臨時福祉給付金(経済対策分)給付事業の終了などによる国庫支出金の減少などがあり、29年度決算と比べて2億3412万円の減額となりました。

▼歳入は29年度と比べて約2億3000万円減

## 一般会計決算の概要

決算とは、市に1年間に入ってきたお金(歳入)と使ったお金(歳出)の最終合計額を表したものです。平成30年度の会計別決算額は下表の通りです。 || 表1

■表1 会計別決算額 (病院事業会計は5ページで紹介)

	歳入額 (a)	歳出額 (b)	差し引き (a-b)	繰越財源 (c)	実質収支 (a-b-c)
一般会計	148億5958万円	140億6804万円	7億9154万円	3202万円	7億5952万円
国民健康保険特別会計	51億651万円	47億1629万円	3億9022万円	—	3億9022万円
後期高齢者医療特別会計	4億2053万円	4億1918万円	135万円	—	135万円
介護保険特別会計	33億9365万円	32億6898万円	1億2467万円	—	1億2467万円
合計	237億8027万円	224億7249万円	13億778万円	3202万円	12億7576万円

※合計などは四捨五入の関係で一致しないことがあります。

グラフ内の用語説明

**■歳入**  
**市税**…市民や市内企業から納付されるお金  
**地方交付税**…財源不足を補うために、国から交付されるお金  
**国庫・県支出金**…市が行う特定の事業の財源として、国・県から交付されるお金  
**市債**…国や金融機関から長期にわたって借りのお金  
**自主財源**…市税など、市が自主的に収入できるお金  
**依存財源**…収入の中で、国や県などから交付されるお金  
**■歳出**  
**民生費**…児童・高齢者・障がい者福祉などに係る経費  
**総務費**…一般事務経費や防災などに係る経費  
**教育費**…小・中学校など教育行政に係る経費  
**公債費**…市債の返済に係る経費  
**衛生費**…市民の健康づくりやごみ処理などに係る経費  
**土木費**…道路などの整備や管理に係る経費  
**消防費**…常備消防や消防団に係る経費  
**農林水産業費**…農林水産業の振興に係る経費  
**その他**…商工観光の振興や議会に係る経費など

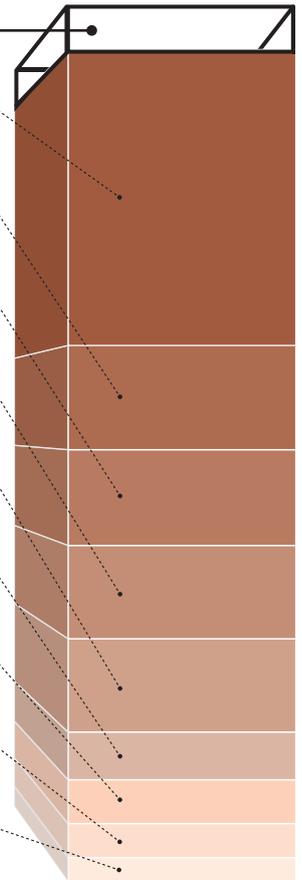
一般会計

歳出総額

140億6804万円 (▲2.2%)

歳入との差  
7億9154万円

- 民生費 50億1748万円 (▲4.6%)
- 総務費 17億5960万円 (▲2.9%)
- 教育費 16億1724万円 (+3.8%)
- 公債費 15億7574万円 (+1.5%)
- 衛生費 15億7486万円 (▲6.8%)
- 土木費 8億606万円 (▲5.4%)
- 消防費 7億4013万円 (+5.9%)
- 農林水産業費 5億7443万円 (+5.1%)
- その他 4億250万円 (▲4.3%)



※( )内は対29年度比

一般会計の歳出は140億6804万円で前年度に比べ2.2%の減となりました。



パークゴルフ場として整備が進む吉崎浜野外活動施設敷地

歳出、市税、基金、市債の金額を市民1人当たりで換算すると…

- 使われたお金 約38.5万円
- 負担した市税 約10.8万円
- 貯金の額 約18.3万円
- 借金の額 約46.8万円

※借金の額のうち72.8%は国から補てん

人口：3万6466人  
(平成31年3月末現在)

これは、地域振興基金などを取り崩して使用した一方で、

基金は、家計に置き換える貯金に当たるもので、現在、財政調整基金や地域振興基金など14の基金を設けています。30年度末の基金残高は、29年度末から2億4001万円増加し、66億7600万円となりました。

基金の状況

整備に係る保育施設整備事業補助金の終了などによる民生費の減少、野球場施設改修工事の終了などによる土木費の減少などがありました。このため、29年度決算と比べて3億2296万円の減額となりました(主な事業を4ページで紹介)。

市債の状況

国民健康保険財政調整基金や介護給付費準備基金などが増加したためです。

市債は、家計に置き換える借金に当たるものです。30年度末の市債残高は、29年度末から4億6955万円減少し、170億7858万円となりました。

市債残高のうち最も多いのは、臨時財政対策債の71億6290万円(全体の42%)ですが、元利償還金の全額が国から補てんされるため、実質的な市の負担はありません。この他、種類に応じて国からの補てんがあるため、市の実質的な負担率は全体の3割程度となります。

4ページ表2